

平成15年8月5日
中国電力株式会社

「水島発電所1号機改造計画 環境影響評価方法書」の 届出・送付および縦覧について

当社は、水島発電所1号機について、使用する燃料を現在の石炭から天然ガスへ転換するとともに、発電効率が高いコンバインドサイクル発電方式を採用した設備に改造することとしています。

これに伴い、本日、環境影響評価法及び電気事業法に基づき、「水島発電所1号機改造計画 環境影響評価方法書」を経済産業大臣に届出るとともに、岡山県知事、倉敷市長へ送付いたしました。

また、環境影響評価法に基づき、平成15年8月6日より、同方法書の縦覧を以下のとおり行います。

1. 方法書の縦覧

- (1) 縦覧場所 【関係自治体庁舎】
・倉敷市役所(土曜日、日曜日は除く)
・水島公民館(月曜日は除く)
【当社事業所】
・水島発電所(土曜日、日曜日、祝日も閲覧可能)
- (2) 縦覧期間 平成15年8月6日(水)～平成15年9月10日(水)
[水島発電所は平成15年9月24日(水)までご覧になれます]
- (3) 縦覧時間 各所とも午前9時～午後5時

2. 環境影響評価方法書の項目(全4章で構成、約200頁、別添資料参照)

- (第1章) 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地
(第2章) 対象事業の目的及び内容
(第3章) 対象事業実施区域及びその周囲の概況
(第4章) 対象事業に係る環境影響評価の項目ならびに調査、予測及び評価の手法

以上

【添付資料】

- (別添資料)… [水島発電所1号機改造計画 環境影響評価方法書の概要](#)
(参考資料)… [水島発電所1号機改造計画の概要および環境影響評価手続きの流れ](#)

水島発電所1号機改造計画 環境影響評価方法書の概要

1号機は18万kW級のガスタービン発電機を新たに設置するため、環境影響評価法の第1種事業に該当することから環境影響評価の手続きを行います。

今回の環境影響評価方法書は、環境影響評価を行うために必要な改造計画の概要、発電所周辺の状況及び環境影響評価の項目、調査、予測および評価の手法について記載したものです。同方法書の概要は以下のとおりです。

1. 対象事業の目的及び内容

水島発電所1号機について、現有設備を有効に活用しながら、燃料を石炭から天然ガスへ転換することにより、環境問題への対応にも配慮した、より高効率のコンバインドサイクル発電方式への改造を行うこととしました。

2. 対象事業実施区域及びその周囲の概況

(1) 自然的状況

大気環境、水環境、土壌及び地盤、地形及び地質、動植物、生態系、景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況について、既存の文献等を参考に現況を調査しました。

(2) 社会的状況

人口及び産業、土地利用、海域等の利用、交通、学校・病院・住宅等の配置、下水道の整備及び廃棄物の状況について、既存の文献等を参考に現況を調査しました。

また、環境保全を目的とした法令等による規制地域、規制基準についても状況を調査しました。

3. 対象事業に係る環境影響評価の項目ならびに調査、予測及び評価の手法

(1) 環境影響評価の項目

対象事業の特性と対象事業実施区域周辺の地域特性を勘案して、大気質、騒音、振動、動物、植物、水温、水質等の環境影響評価項目を選定しました。

(2) 調査・予測の手法

発電所の改造工事や運転によって影響が予想される大気や水質等について、文献調査及び現地調査により現況を把握したのち、数値計算等により影響を予測し、環境保全に対して配慮すべき事項を検討します。

(3) 評価の手法

調査及び予測の結果を踏まえ、環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているか、環境保全についての配慮が適正になされているかを検討し評価します。

また、国や地方自治体によって環境基準や環境保全上の規制基準等の環境保全施策が示されている場合には、それらとの整合が図られているかを検討し評価します。

以上

○水島発電所1号機改造計画の概要

- (1)所在地 岡山県倉敷市潮通1丁目1番地
- (2)使用燃料 天然ガス
- (3)発電方式 コンバインドサイクル発電方式
- (4)発電出力 27万kW級
- (5)工事着工 平成19年4月(予定)
- (6)運転開始時期 平成21年4月(予定)

○環境影響評価手続きの流れ

法律に基づく環境影響評価の手続きは次のとおりであり、今回の「方法書の縦覧」は太枠の段階のものです。

今後、皆様の意見をお聞きした上で調査・予測・評価を行い、次に「準備書」として縦覧することとなります。

